

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日 東

上場会社名 株式会社スターフライヤー 上場取引所 東
 コード番号 9206 URL <http://www.starflyer.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松石 禎己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画本部長 (氏名) 柴田 隆 (TEL) 093-555-4500
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,025	12.5	△423	—	△368	—	△372	—
26年3月期第1四半期	7,135	20.9	△1,131	—	△1,052	—	△1,054	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第1四半期	△129.87		—					
26年3月期第1四半期	△368.05		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成27年3月期第1四半期および平成26年3月期第1四半期はともに1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	23,640	1,339	5.7
26年3月期	24,124	1,919	8.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,339百万円 26年3月期 1,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	35,400	7.2	200	—	550	—	540	—	188.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は第2四半期累計期間の業績予想を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期1Q	2,865,640株	26年3月期	2,865,640株
27年3月期1Q	13株	26年3月期	13株
27年3月期1Q	2,865,627株	26年3月期1Q	2,865,627株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は航空運送事業を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでいるため、セグメント別の記載は行っていません。

当第1四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、依然として厳しい競争環境や、円安基調および原油価格の高止まりなど厳しい状況が続きました。この様な状況下、当社は、前事業年度に策定した「S F J経営合理化計画(2013-2014)」を着実に実行し、当事業年度における黒字化を確実なものにすべく、取り組んでまいりました。

就航路線の状況は、「S F J経営合理化計画」に基づき実施した積極的な路線の改廃の結果、当第1四半期会計期間末において、国内定期便4路線30往復60便となりました。

(就航路線の状況)

路線	便数(日)	備考
国内定期路線		
北九州-羽田線	12往復24便	
関西-羽田線	5往復10便	
福岡-羽田線	10往復20便	
福岡-中部線	3往復6便	平成26年3月新規就航

※当第1四半期会計期間末における保有機材数は、10機となります。なお、当社の航空機材は、全てエアバス社A320-200を使用しております。

設備・施設面におきましては、新規投資は基本的には凍結する方針とし、当第1四半期累計期間において重要な設備投資はありません。

旅客状況につきましては、北九州-釜山線が運休したものの、平成26年3月から福岡-中部線が新規就航したことなどにより、旅客数は33万1千人(前年同期比△10.6%減)、座席利用率は60.0%(同1.7ポイント増)となりました。

(運航、輸送実績)

項目	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	増減率
就航率(%)	99.3	99.0	△0.3pt
定時出発率(%)	94.6	91.5	△3.1pt
旅客数(人)	370,658	331,286	△10.6%
旅客キロ(千人・キロ)	336,574	322,245	△4.3%
座席キロ(千席・キロ)	577,440	537,047	△7.0%
座席利用率(%)	58.3	60.0	+1.7pt

(注) 1 上記輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

2 旅客キロは、路線区間の旅客数に区間距離を乗じたものであります。

3 座席キロは、路線区間の座席数に区間距離を乗じたものであります。

貨物事業における貨物輸送重量は、北九州-羽田線、福岡-羽田線の総計で、4,536トン(前年同期比10.7%減)となりました。

附帯事業のうち空港ハンドリング業務については、引き続き羽田空港および福岡空港でのデルタ航空等からの定

期便の受託のほか、北九州空港においては日本貨物航空株式会社から大型貨物定期便の受託を行いました。

一方、費用面につきましては、全体の輸送量（全日本空輸株式会社への座席販売分を含めた座席キロ）の増加にともなう航空機燃料費の増加のほか、円安で推移したことによる航空機燃料費や航空機材費の増加および減価償却費の増加などにより、事業費ならびに販売費及び一般管理費の合計額である営業費用は、8,448百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の営業収入は8,025百万円（前年同期比12.5%増）、営業損失は423百万円（前年同期は営業損失1,131百万円）となりました。また、円安をヘッジするデリバティブ取引による為替差益を営業外収入として計上したことなどにより経常損失は368百万円（前年同期は経常損失1,052百万円）となり、四半期純損失は372百万円（前年同期は四半期純損失1,054百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は23,640百万円となり、前事業年度末に比べ483百万円減少いたしました。

これは主として、現金及び預金が2,070百万円増加した一方、営業未収入金が498百万円減少したほか、未収消費税や前渡金等の減少により流動資産のその他が1,752百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期会計期間末の負債合計は22,301百万円となり、前事業年度末に比べ96百万円増加いたしました。

これは主として、自社保有航空機材をセール・アンド・リースバックしたことなどにより、借入金（流動負債および固定負債合計）が2,421百万円減少した一方、リース債務（流動負債および固定負債合計）が2,794百万円増加したほか、定期整備引当金が153百万円増加したことなどによるものです。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は1,339百万円となり、前事業年度末に比べ579百万円減少いたしました。これは主として、四半期純損失の計上により利益剰余金が372百万円、デリバティブ取引に係る繰延ヘッジ損益が207百万円、それぞれ減少したことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

航空業界内における競争環境は、大手航空会社および中堅航空会社の更なる攻勢やLCC（格安航空会社）の規模拡大等により、ますます厳しさを増すと考えられます。

このような状況のなか、当社は、新経営体制の下、現在の路線に山口宇部ー羽田線（平成26年10月26日就航予定）を加えた、国内5路線30往復60便体制での収益最大化に注力しつつ、現在の経営合理化策の着実な実行と、継続した追加施策の検討を行ってまいります。

なお、平成27年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りで推移しており、平成26年5月9日に発表した業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,652,280	5,722,495
営業未収入金	1,647,707	1,149,161
商品	2,959	2,467
貯蔵品	268,526	280,411
その他	4,113,523	2,360,709
貸倒引当金	△18,069	△12,219
流動資産合計	9,666,928	9,503,025
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	8,125,189	11,477,791
その他	5,043,817	1,400,344
有形固定資産合計	13,169,007	12,878,136
無形固定資産	239,842	225,121
投資その他の資産	1,048,394	1,034,554
固定資産合計	14,457,244	14,137,812
資産合計	24,124,172	23,640,838
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,597,204	2,510,876
短期借入金	1,208,700	1,025,000
1年内返済予定の長期借入金	1,486,686	1,162,936
リース債務	656,310	895,750
未払金	1,495,154	1,072,635
未払法人税等	8,552	7,929
前受金	2,494,685	2,534,949
ポイント引当金	6,909	8,396
事業構造改善引当金	86,300	86,300
その他	431,615	460,119
流動負債合計	10,472,119	9,764,894
固定負債		
長期借入金	4,077,954	2,164,045
リース債務	6,394,911	8,950,105
定期整備引当金	863,638	1,016,825
資産除去債務	51,000	51,211
その他	345,061	354,005
固定負債合計	11,732,565	12,536,193
負債合計	22,204,684	22,301,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,027	1,250,027
資本剰余金	1,013,583	1,013,583
利益剰余金	△975,062	△1,347,225
自己株式	△30	△30
株主資本合計	1,288,517	916,354
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	630,970	423,394
評価・換算差額等合計	630,970	423,394
純資産合計	1,919,488	1,339,749
負債純資産合計	24,124,172	23,640,838

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収入	7,135,936	8,025,774
事業費	7,649,173	7,941,474
営業総利益又は営業総損失(△)	△513,236	84,300
販売費及び一般管理費	617,924	507,467
営業損失(△)	△1,131,160	△423,166
営業外収益		
受取利息及び配当金	72	13
為替差益	113,119	138,715
その他	16,439	2,178
営業外収益合計	129,630	140,906
営業外費用		
支払利息	47,798	73,772
その他	2,843	12,127
営業外費用合計	50,642	85,900
経常損失(△)	△1,052,172	△368,160
特別利益		
固定資産売却益	-	289
特別利益合計	-	289
特別損失		
固定資産除却損	59	-
特別損失合計	59	-
税引前四半期純損失(△)	△1,052,231	△367,870
法人税、住民税及び事業税	2,696	4,526
法人税等調整額	△234	△234
法人税等合計	2,462	4,292
四半期純損失(△)	△1,054,694	△372,162

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、航空運送事業を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。また、経営資源の配分の決定や業績評価は、当社全体で行っております。したがって、事業セグメントは単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。